
長町・歩いて楽しい
街並みの将来像（ビジョン）

令和6年3月
仙台市 太白区

目次

- 1. はじめに … P.2
 - ～人中心の「歩いて楽しい街並み」を目指して～
- 2. 街並みの将来像（ビジョン）に関する基本的な考え方 … P.3
 - (1) 策定の背景
 - (2) 策定の目的
 - (3) 対象エリア
 - (4) 将来像（ビジョン）の位置づけ
- 3. 旧国道4号沿道周辺（長町商店街エリア）の現状 … P.5
 - (1) 旧国道4号沿道周辺（長町商店街エリア）について
 - (2) 旧国道4号沿道周辺（長町商店街エリア）の強み
 - (3) 旧国道4号沿道周辺（長町商店街エリア）の現状における課題
 - (4) 人中心の「歩いて楽しい街並み」づくりを進める意義
- 4. 旧国道4号沿道周辺（長町商店街エリア）における街並みの将来像 … P.11
 - (1) 街並みの目指す姿と将来のイメージ
 - (2) 実現に向けた今後の検討の方向性
 - (3) 実現に向け解決すべき課題
- 5. 今後の進め方 … P.17
 - (1) 多様な主体の協働による事業の推進
 - (2) ロードマップ
 - (3) 本将来像（ビジョン）の具体化に向けて

◆資料編（別冊）

～人中心の「歩いて楽しい街並み」を目指して～

この「街並みの将来像（ビジョン）」は、長町商店街エリアにおける旧国道4号沿道を中心とした街並みの将来像について、地域や関係の方々をはじめ、広く市民の皆様と共有し、その実現に向けて協働で取組みを進めていくための指針として策定しました。

本市が世界から選ばれる都市として発展していくためには、魅力や活力あふれる都市活動が展開される持続可能で多様性に富んだ都市づくりが必要です。そのためには、都心部の機能の充実とともに、個性ある南北の広域拠点の魅力を高めていくことが求められます。

本市南部の「広域拠点」である長町地区には、旧国道4号沿道を中心に古くからの商店街が立地する「長町商店街エリア」、土地区画整理事業により整備され、高層マンションや大型商業施設が建ち並ぶ「あすと長町エリア」、太白区役所と大型商業施設が隣接して立地する「長町南エリア」の3つのエリアがあります。

「あすと長町エリア」と「長町南エリア」が大型商業施設や集客施設を中心に新しい賑わいを生み出す一方で、長い歴史のある「長町商店街エリア」の旧国道4号沿道は、時代の移り変わりとともに、マンションや駐車場が増え、一部空き店舗が見られるようになるなど、商店街の姿も変化してきました。

南部拠点長町全体のさらなる活性化を図るためには、「長町商店街エリア」が旧国道4号沿道を中心に、より魅力的な街並みへと進化し、近接する他の2つのエリアと連携して、回遊性を高めながら、賑わいを生み出していく必要があります。

その鍵となるのは、今、国内外の主要都市などで、都市の魅力を高め、活力を創出するために進められている人中心の「歩いて楽しい街並み」づくりです。

実現に向けては、行政だけではなく、地元の商店街や町内会、地域活動団体、大学、沿道を活用する事業者等、長町に住み、長町で活動し、長町を愛する、多様な主体が一緒になって、協働して街並みづくりに取り組んでいくことが重要です。

誰もが安心して歩くことができ快適に滞在できる、様々な人が集まり活動し交流することで賑わいが生まれる、住む人にも訪れるに人も「歩いて楽しい街並み」を、ここ長町で、皆様一緒に創ってまいりましょう。

2. 街並みの将来像（ビジョン）に関する基本的な考え方

（1）策定の背景

長町地区は、「仙台市基本計画」及び「仙台市都市計画マスタープラン」のもと、仙台都市圏南部の「広域拠点」として位置づけられています。長町商店街エリア（JR長町駅西側の旧国道4号沿道周辺）、あすと長町エリア、長町南エリア（太白区役所周辺）の3つのエリアがそれぞれの特性を生かし連携することにより、都市機能の集積を進めることとしています。中でも長町商店街エリアにおいては、「商業機能と文化機能が連携した賑わいのある、歩いて楽しい歩行者空間や街並みの形成」を図ることとしています。

あすと長町エリアや長町南エリアでは、高層マンション等集合住宅の建設が進み、子育て世代を含め、人口が増加するとともに、大型商業施設やイベント広場、大型集客施設を中心に人が集まり、賑わいを生み出しています。その一方で、長町商店街エリアでは、これまでも商店街を中心に様々な地域活性化の取り組みが行われてきましたが、日常的に人を惹きつけ、近隣の2つのエリアの賑わいを十分に取り込むまでには至っていません。また、メインストリートである旧国道4号の沿道では、近年、事業主の高齢化や事業承継の困難さにより、空き店舗や空き地の発生、駐車場への転用等が散見される状況にあります。

今後とも長町地区が、本市南部の広域拠点として持続的に発展していくためには、長町商店街エリアのさらなる活性化が重要となります。

（2）策定の目的

近年、国内外の主要都市などにおいて、都市の魅力を高め、活力を創出することを目指して、従来の車道や歩道を、多くの人々が集い、憩いの時間を過ごすことができる、また多様な活動を繰り広げることができる場として活用できるようにする、人中心の「歩いて楽しい街並み」づくりが進められています。本市においても、現在、定禅寺通、青葉通、宮城野通で官民連携による取り組みが進められています。

長町商店街エリアにおいて、エリアとしての魅力のさらなる向上、回遊性や滞在性の向上、賑わいの創出を図るため、旧国道4号沿道における人中心の「歩いて楽しい街並み」づくりに地域とともに取り組んでいくにあたり、目指すまちの姿や通りの姿、将来の街並みのイメージ、それらを実現していく上での検討すべき事項等を将来像（ビジョン）としてまとめ、商店街や町内会など地域の方々、関係機関・団体等と共有を図り、官民連携による街並みづくりに取り組むための指針とします。

(3) 対象エリア

本将来像（ビジョン）は、旧国道4号沿道を中心とする長町商店街エリア（図の赤色部分）を対象とします。



(4) 将来像（ビジョン）の位置づけ

本将来像（ビジョン）は、本市の目指す都市の姿とその実現に向けた施策の方向性を示す「仙台市基本計画2021～2030」並びに長期的な視点に立った本市の都市の将来像を示しその実現に向けての大きな道筋を明らかにする「仙台市都市計画マスタープラン～都市計画に関する基本的な方針2021～2030～」のもと策定するものです。

○「仙台市基本計画 2021～2030」

- ・長町地区を泉中央地区とともに、「都市圏の活動を支え生活拠点にふさわしい魅力的で個性ある都市機能の集積を図る広域拠点」と位置づけ、「新たな街の賑わいを創出する魅力的で個性のあるまちづくりを進めるとともに、生活利便性を活かした都市型居住の促進を図り、地域や商店街等と連携しながら、地区全体での賑わい向上に取り組む」としています。

○「仙台市都市計画マスタープラン～都市計画に関する基本的な方針2021～2030～」

「仙台市都市計画マスタープラン 地域別構想【長町地区】」

- ・長町地区は、「あすと長町地区、J R・地下鉄長町駅周辺の商店街、太白区役所周辺地区それぞれの地域特性を生かし、各地区の都市機能の連携による高次な都市機能が集積する複合型の広域拠点の形成を推進する」としています。
- ・特に長町商店街エリアについては、「商業施設と文化機能が連携した賑わいのある、歩いて楽しい歩行者空間や街並みの形成や、歴史ある商店街を含む長町駅周辺の市街地と各地区をつなぐ回遊性の向上などを図るとともに、地下鉄長町南駅周辺地区やあすと長町地区などの都市機能と連携することにより、魅力的で個性ある都市圏南部の拠点の一体的な形成に取り組む」としています。

3. 旧国道4号沿道周辺（長町商店街エリア）の現状

(1) 旧国道4号沿道周辺（長町商店街エリア）について

— 歴史ある 商いのまち・長町 —

①歴史

長町は、江戸時代には、五街道の1つである奥州街道が通っており、宿場町として栄え、山形へと通じる笹谷街道の起点でもあったほか、仙台藩における木材の集積地である木場が設けられていました。明治25年には青果市場（仙台市卸売市場分場となった後、昭和38年閉鎖）が設置されたほか、この頃は米穀店や薪炭店が多く集まっていました。明治29年に長町駅が開業、その後も秋保電鉄（大正3年～昭和36年）や市電（昭和11年～昭和51年）の終着駅となり、本市南部の中心地、交通・物流の拠点として発展するなど、長町は、旧国道4号沿道周辺を中心に、商業のまちとして人々が行き交ってきた歴史があります。

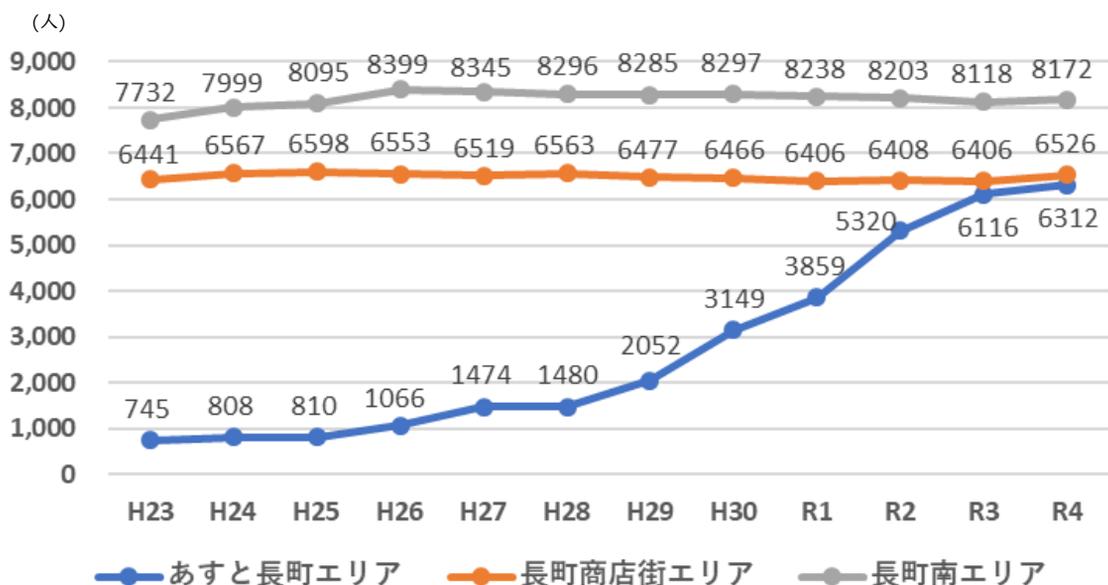
長町の商いのまちとしての歴史は、今日においても沿道における3つの商店街振興組合（長町駅前商店街、サンカトゥール商店街、長町一丁目商店街）を中心に受け継がれています。

②人口

最近10年間の人口の推移を見ると、あすと長町エリアで開発が進む中で平成28年以降急増しているのに対し、長町商店街エリアと長町南エリアは概ね横ばいとなっています（図1）。

年代別に見ると、あすと長町エリアは10代以下の若年層と30代～40代のいわゆる子育て世代層の比率が突出している一方、長町商店街エリアでもそこまで極端ではないものの、仙台市全体と比べて、30代前後の比率が高くなっています（図2）。

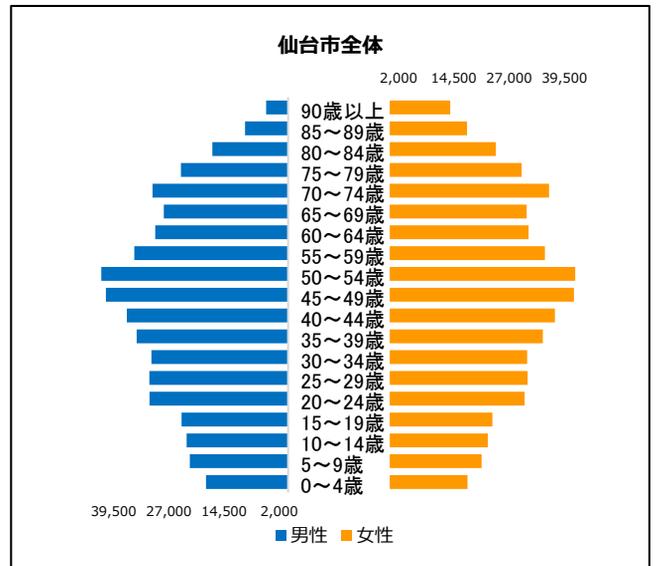
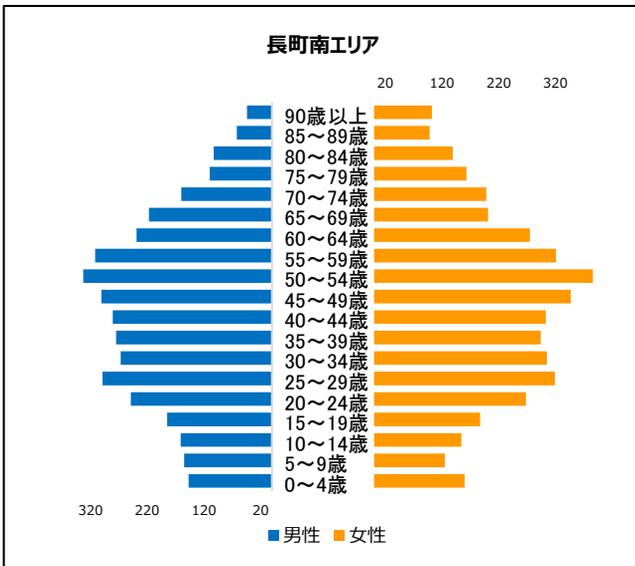
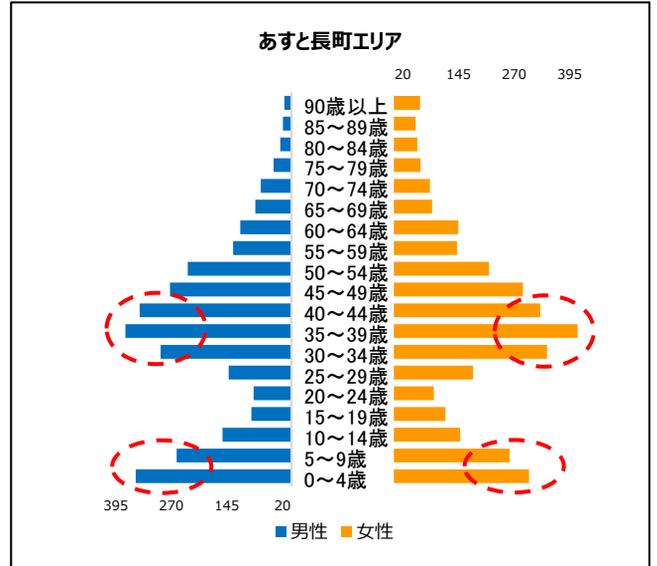
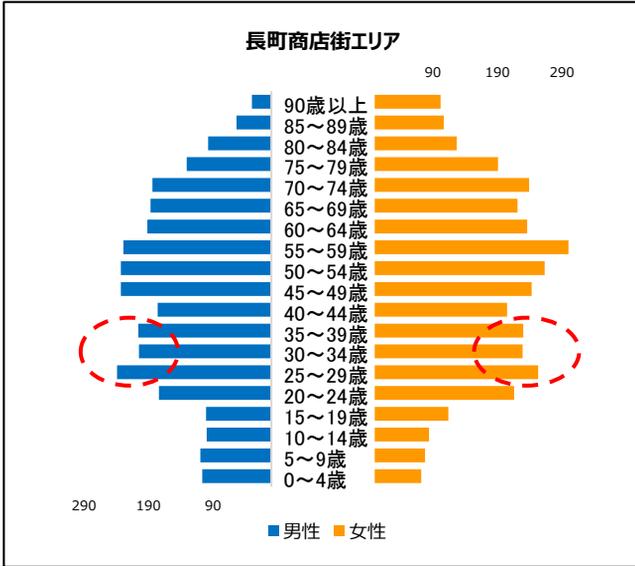
(図1) 各エリアにおける人口の推移



出典：仙台市「町名別年齢（各歳）別住民基本台帳人口」

(注) あすと長町エリアはあすと長町一丁目～四丁目、長町商店街エリアは長町一丁目、三丁目、五丁目、長町南エリアは長町七丁目、長町南一丁目、三丁目、四丁目としている。

(図2) 年代別人口分布の比較



出典：仙台市「町名別年齢（各歳）別住民基本台帳人口」（令和6年1月1日現在）

(注) 長町商店街エリアは長町一丁目、三丁目、五丁目、あすと長町エリアはあすと長町一丁目～四丁目、長町南エリアは長町七丁目、長町南一丁目、三丁目、四丁目としている。

③交通

- ・ エリア内には、J R東北本線の長町駅、仙台市地下鉄南北線の長町駅と長町一丁目駅があり、地下鉄とJ R等在来線が結節し、本市中心部等からのアクセスも良好です。J R長町駅の乗車人員は、仙台駅、あおば通り駅、南仙台駅に次いで市内第4位で一日平均8,943人（令和4年）となっており、地下鉄の乗車人員も、長町駅と長町一丁目駅の合計で一日平均12,164人（令和4年）であり、計2万1千人を超える人が駅を利用しています。
- ・ 長町駅がバス路線との結節駅となっていることから、太白区内各地からのアクセスも良好です。また、長町地区内は平坦な地形で高低差が少ないこともあり、高齢者でも自転車で移動する人が多くみられます。

④土地利用

- ・JR長町駅から地下鉄長町一丁目駅周辺までの旧国道4号に面した土地の利活用状況は、全体の約7割が店舗です(図3)。
- ・店舗について、理美容やクリニック、金融や不動産等のサービス業が全体の25%を占め、次いで、居酒屋・バー、カフェ、和食等の飲食店が15%、食料品や日用品を中心とした物販店が18%となっています。過去に青果市場があった名残か青果店や生花店が散見され、老舗和菓子店、豆腐店、書店、電器店等、昔ながらの商店街の趣を感じさせる個店が残っており、まちの個性となっています。大手資本によるチェーン店が少ないことも特徴です。
- ・そのほか、全体の3割が店舗以外(事務所ほか11%、住宅9%、駐車場11%)に利用されています。
- ・空地や空き店舗などの未利用地は11%となっています。

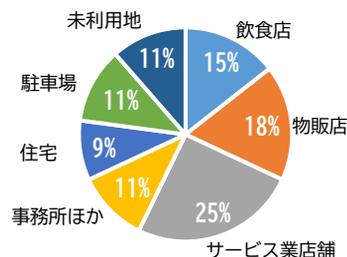
⑤経済

- ・長町商店街エリアの事業所数は、平成24年と令和3年を比較すると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり飲食サービス業において減少が見られるものの、その他の業種については、コロナ禍前と同水準にあります(図4)。
- ・また、従業者数は、長町商店街エリアでは3,356人(令和3年)、近隣の他の2つのエリアも合わせると約1万3千人となっており、多くの人たちが長町商店街エリアやその周辺で働いています(図5)。

⑥周辺地域の発展

- ・近接するあすと長町エリアと長町南エリアには、大型ショッピングモールをはじめとした大型商業施設が立地しているほか、各種のイベントが開催できる大型集客施設や広場などもあり、プロスポーツやコンサートをはじめとした大型イベント等が開催されている日には、市内外からの多くの来訪者の姿が見られます。

(図3) 旧国道4号沿道の沿道利活用状況構成比

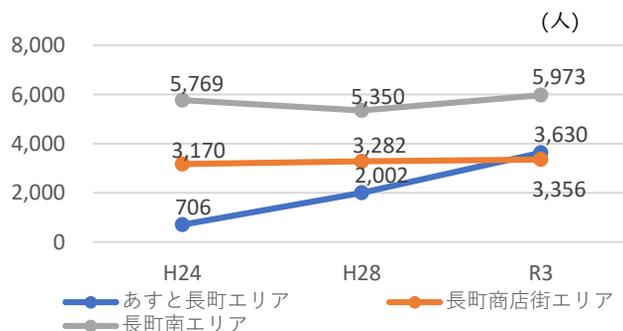


出典：調査員による目視確認(令和5年9月29日調査)
 (注) 建物の1階部分の利活用状況で、店舗か住宅、駐車場または未利用地等に分類している。

(図4) 長町商店街エリアにおける業種別事業所数の推移

業種	H24	H28	R3	(R3-H24)
宿泊業、飲食サービス業	104	104	74	-30
卸売業、小売業	86	86	83	-3
不動産業、物品賃貸業	53	44	51	-2
医療、福祉	42	44	43	1
生活関連サービス業、娯楽業	37	33	34	-3
学術研究、専門・技術サービス業	19	21	25	6
教育、学習支援業	13	15	16	3
金融業、保険業	12	10	10	-2
サービス業(他に分類されないもの)	12	10	9	-3
建設業	11	12	11	0
その他	9	8	14	5
合計	398	387	370	-28

(図5) 各エリアにおける従業者数の推移



出典(図4、図5)：H24、H28、R3経済センサス活動調査
 (注) 長町商店街エリアは長町一丁目、三丁目、五丁目としている。

(2) 旧国道4号沿道周辺（長町商店街エリア）の強み

①本市南部の中心地としての交通利便性

- ・長町駅を挟んで東側のあすと長町エリアには、大規模イベントが多数開催される杜の広場、仙台89ERSのホームゲームやコンサート等のイベントが多く開催されるゼビオアリーナ仙台が立地し、それらイベントは地区外からの来訪者も多く、長町商店街エリア内にある地下鉄長町駅、同長町一丁目駅、JR長町駅を多くの人が利用しています。
- ・また、あすと長町エリアには仙台市立病院も立地しており、隣接している地下鉄長町一丁目駅を利用して通院やお見舞いに訪れる人たちも多くみられます。
- ・鉄軌道の高い利便性やバスとの良好な結節性を有する点は、今後もあすと長町エリアでの多数の来客が期待できるイベント等の開催が見込まれ、ゼビオアリーナ仙台がフィギュアスケートの国際規格に適合したアイスリンクとしても利用可能になることもあり、長町商店街エリアにとっても集客や賑わい創出へつながる大きなポテンシャルとなります。

②潜在的な顧客や活動の担い手が住むあすと長町エリアに隣接

- ・長町商店街エリアにとって、徒歩圏内であるあすと長町エリアに多く居住している子育て世代層は、従来の顧客層にとどまらない潜在的な顧客候補となり得ます。
- ・また、あすと長町エリアにおける新規居住者は、地域にとっても新たな交流や活動の担い手となる可能性があります。

③個性豊かな地域資源と下町情緒

- ・旧国道4号沿道周辺は、歴史を感じさせる地域資源が多く、東北地方における現存最古の木彫像を本尊とする十八夜観世音堂、魅力的な伝承を持つ蛸薬師如来堂や舞台八幡神社等の「神社仏閣」、道標等から往時をうかがい知り得る旧奥州街道や旧二口・笹谷街道、フラワー通りや二番街等の味わい深い「横丁」、長年にわたり営業し地域に愛され続けている「老舗」等が見られます。
- ・これらの地域資源が醸し出す下町らしい雰囲気には、情緒・人情を感じられるまちの個性があり、長町らしさとして懐かしさだけでなく、若い世代にとっては新鮮さをも感じられるものとなり得ます。

④地域住民をはじめとした市民の多様な活動

- ・旧国道4号沿道周辺では、商店街、町内会、まちづくり団体やNPO法人等の多様な主体が、地域に愛着を持って様々な活動に取り組んでいます。
- ・その活動内容はとても幅広く、広瀬川灯ろう流しといった大規模行事をはじめ、七夕まつりや長町まつり等の地域に根差したイベント、さらにはまち歩きの実施や高齢者の社会参加プログラム、沿道のごみ拾い等の草の根活動に至るまで実に多様です。
- ・長町駅西口広場では、多様な主体による活発な地域の活動が見られ、様々な活動主体の連携やあすと長町の杜の広場のイベントとの連携を図ることにより、賑わいのさらなる広がりが期待できます。

(3) 旧国道4号沿道（長町商店街エリア）の現状における課題

①狭い歩行空間

- ・長町商店街エリアの旧国道4号は、特に地下鉄長町駅の北側出入口から地下鉄長町一丁目駅周辺にかけて歩道が狭く、自転車利用者も歩道を通ることが多いため、歩行者が歩きにくさだけでなく安全性に不安を感じていることもあることから、安全安心で歩きやすい歩道空間とすることが必要です。

②滞在性の低さ

- ・エリア内のJR長町駅から地下鉄長町一丁目駅周辺までは、南北に約800mと徒歩で移動する際には距離が長く、訪れた人が様々なお店や個性豊かな地域資源を訪れるためには、比較的長い距離を移動する必要があります。
- ・途中途中で一息つける場所を設けるなど、歩行者が心地良さを感じゆっくりと時間を過ごせる空間とすることがあります。

③個店の減少による魅力の低下

- ・長町商店街エリアでは、従来は様々な種類の個店で、多くの人たちが日常の買い物や食事を楽しんでいましたが、あすと長町エリアや長町南エリアに大型商業施設ができたことなどにより、人々のニーズも変わってきました。
- ・こうした影響もあり、時代の移り変わりとともに、旧国道4号沿道の個店数は減り、マンションや駐車場が増えたり、空き店舗や空き地が散見されるようになってきました。
- ・このような状況は、この通りの目的地としての性質を弱め、来街意向の低下を招いています。街歩きに適したここにしかないような個性的な個店が増え、道路空間を活用した活動が盛んに行われることにより、通りの賑わいを高めることができると考えます。

(4) 人中心の「歩いて楽しい街並み」づくりを進める意義

南部拠点長町全体のさらなる活性化を図るためには、長町商店街エリアが、そのメインストリートである旧国道4号の沿道を中心に、より魅力がある街並みへと進化し、近接するあすと長町エリア、長町南エリアとの連携により、回遊性を高めながら、賑わいを生み出していく必要があります。

その鍵となるのは、今、国内外の主要都市などで、都市の魅力を高め、活力を生み出すために取り組まれている、人中心の「歩いて楽しい街並み」づくりです。沿道と路上を一体的に利活用して多様な活動を繰り広げられる場とするなど、通りを車中心から人中心のウォークブルな空間へと再構築する「歩いて楽しい街並み」づくりの取組みが進められています。

「歩いて楽しい街並み」づくりによって、歩行者が歩きやすくなるほか、通りが賑やかになれば、地域が活性化します。街並みが整備されることで、安全性やまちの景観が向上し、まちのイメージが良くなり、まち全体の評価や価値の向上にもつながります。

人々が集まり、交流することで、新しい出会いや発見があり、通りを舞台に新しいまちの魅力や活動が生まれます。また、まちに住み、まちで活動する人たちの愛着や誇りが強まることが期待できます。

長町商店街エリアにおいても、旧国道4号沿道の強みを生かし、課題を解決する方向で、多様な主体が活動し、賑わいを生み出す、魅力ある通りへと進化させるべく、「歩いて楽しい街並み」づくりを推進する必要があります。

4. 旧国道4号沿道周辺(長町商店街エリア)における街並みの将来像

(1) 街並みの目指す姿と将来のイメージ

長町商店街連合会や沿道の町内会等の皆様と、検討会としてワークショップを8回開催し、様々なご意見をいただきながら、旧国道4号沿道における街並みの目指す姿や将来のイメージについて、下記の通りまとめました。

(検討会の実施状況と、検討会によりまとめられた将来イメージの案及び取組みの提案については、資料編5～6ページ参照)

■街並みの目指す姿

目指す まちの姿

新しくて懐かしい 心躍る触れ合いのまち ナガマチ

目指す 通りの姿

歩いて楽しい 賑わいと交流が生まれる人中心の街並み

歴史ある「商（あきな）い」のまち・長町
まちの個性と新しい魅力や活動が、
歩きやすく快適な人中心の通りでつながり、
訪れる人にも住んでいる人にも
魅力的な賑わいと交流の「あきない」まちへと、
皆のチカラで進化します。

目指すまちの姿「新しくて懐かしい 心躍る触れ合いのまち ナガマチ」は、長町商店街エリアが、歴史的な地域資源や下町情緒など古くからのまちの個性を大切にしながら、新しい魅力や文化を生み出し、訪れる人にも、住んでいる人にも、心躍るような出会いと温かい触れ合いのある魅力的なまちになって欲しいという、検討会の皆様の想いがつまっています。

また、目指す通りの姿「歩いて楽しい 賑わいと交流が生まれる人中心の街並み」は、そうした様々な人たちの活動が、旧国道4号沿道を舞台に展開され、賑わいや交流が生まれる活気あふれる通りとなることへの期待が込められています。

そして、長町が歴史ある「商(あきな)い」のまちから、魅力的な賑わいと交流の「あきな」まちへと進化するように、地域を挙げて、また様々な主体の皆様と連携して取組みを進めていく決意が込められています。



■ 将来の街並みのイメージ

目指すまちの姿と通りの姿を踏まえ、今後の街並み形成にあたるうえでのイメージを次の5つにまとめました。行政、地域の方々、その他関係するの方々、皆でこのイメージを共有し、多様な主体の方々の参画を得ながら、新しい街並みづくりを協働で進めます。

- | | |
|---------------------|---------|
| ○安心して歩きやすい街並み | 【歩きやすさ】 |
| ○心地良い時間（とき）を過ごせる街並み | 【心地良さ】 |
| ○賑わいがあり心躍る街並み | 【賑わい】 |
| ○個性的な触れ合いのある街並み | 【触れ合い】 |
| ○皆で一緒に魅力を育てる街並み | 【皆で育てる】 |

安心して歩きやすい街並み

大人にも子どもにも、昼夜を問わず安心安全な通り。
思わず歩き出したくなる、
人中心の誰にでもやさしく快適な空間をつくります。

【検討会の皆様から寄せられた取組みのアイデア（例）】

- ・車線減少による歩道の拡幅
- ・自転車専用レーンの設置
- ・子ども、親子連れや高齢者などにやさしいユニバーサルデザイン
- ・スクランブル交差点
- ・滑りにくい舗装

など



心地良い時間（とき）を過ごせる街並み

気軽にゆったりとくつろぎ、休んだり会話を楽しんだり思い思いに過ごせる通り。

ゆっくり滞在したくなる、
居心地の良い憩いの空間をつくります。

【検討会の皆様から寄せられた取組みのアイデア（例）】

- ・ベンチやテラスの設置など、憩いの空間を生み出す仕組みづくり
- ・植樹による木陰、花壇の設置
- ・長町駅西口広場などにおけるくつろぎの空間設置

など



賑わいがあり心躍る街並み

一人でも楽しい、誰かと一緒ならもっと楽しい、いつも魅力と発見がある通り。いつ訪れてもワクワクしながら街歩きが楽しめる、活気のある空間をつくります。

【検討会の皆様から寄せられた取組みのアイデア（例）】

- ・ イベント時の歩行者天国化と道路空間活用
- ・ 長町駅西口広場など既存施設のイベント活用
- ・ 空き店舗、空き地の利活用
- ・ 街歩きに魅力的な仮設店舗、キッチンカーの設置
- ・ 街歩きを楽しめる案内サイン・マップ
- ・ アート、音楽などの活用

など



個性的な触れ合いのある街並み

古くからの歴史と新しい文化・人が調和する、長町らしさを感じられる通り。様々な人の関わり合いを通して、親しみと情緒を感じられる交流の空間をつくります。

【検討会の皆様から寄せられた取組みのアイデア（例）】

- ・ 街の人と触れ合うことができる案内所兼カフェ
- ・ 歩きながら地域資源に触れられる仕組み
- ・ 新しい長町らしさの発掘、創造
- ・ 顔が見える会話を楽しめるお店の仕組み
- ・ 屋台や夜市などと横丁が連携したナイトツーリズム
- ・ 長町商店街まちづくり憲章に沿った商店街振興

など



皆で一緒に魅力を育てる街並み

住んでよし訪れてよし、魅力的なメインストリートとして皆でつくる通り。

いつまでも愛され受け継がれる、様々な人が関わり魅力を高める協働の空間をつくります。

【検討会の皆様から寄せられた取組みのアイデア（例）】

- ・ 多様なプレーヤーの協働を生み出す「たまり場」の設置、活用
- ・ 民間主導による街路や広場の維持管理、活用
- ・ 出展料や広告料などによるマネジメント資金の確保
- ・ 街並みのブランディング戦略
- ・ ファンを増やすまちゼミなどの取組み
- ・ 大学、学校への活動フィールドの提供

など



(2) 実現に向けた今後の検討の方向性

将来の街並みのイメージを踏まえ、目指す街並みの具体化に向け、地元の商店街組合や町内会、沿道利用事業者・団体、行政機関等との連携・協働により、役割分担を図りながら、以下の視点をもって、具体的な取組みを検討します。

道路空間の整備

- ・歩道拡幅のための車線減少など、安全安心で歩きやすい歩道空間創出の検討を進めます。
- ・自転車専用レーンや交差点の改良など、歩行者、自転車、自動車の動線分離の検討を進めます。
- ・誰もが安心して通行できるよう、歩道空間のバリアフリー化の検討を進めます。

滞在性の向上

- ・歩道へのベンチやテーブル、植栽の設置など、くつろぎの空間創出について検討を進めます。
- ・パークレットの手法を活用した一部歩道のテラス化など、滞在空間創出について検討を進めます。
- ・長町駅西口広場の一部芝生化など、既存施設の滞在性向上について検討を進めます。

賑わいの演出

- ・イベント時の歩行者天国化など、道路空間活用の検討を進めます。
- ・出店希望者に対する地元開業に繋げる支援の仕組みづくりについて検討を進めます。
- ・歩道空間やパークレット、空き店舗・空き地において、仮設店舗の設置やキッチンカーの活用などによる賑わいの創出について検討を進めます。
- ・シェアリングモビリティの活用など、回遊性向上について検討を進めます。
- ・サインの設置やマップの活用など、街歩きを楽しめる仕組みづくりの検討を進めます。
- ・長町駅西口広場などの公共空間のイベント活用などについて検討を進めます。
- ・アートや音楽を取り入れるなど、多様な賑わい演出について検討を進めます。

個性に富む交流空間の創出

- ・横丁、神社仏閣、祭りなどの既存資源の活用や、シンボルとなるような名物や長町らしさの創出について検討を進めます。
- ・まちの人々と触れ合える案内所の設置や、顔が見える会話を楽しめるお店の取組みなどについて検討を進めます。

持続的な活動

- ・来訪者、街並みのファン、ボランティア等を増やす戦略的広報の検討を進めます。
- ・まちづくり活動関係者の集いの場の活用などにより、沿道で活動する様々な主体のネットワーク化について検討を進めます。
- ・エリアマネジメントなど民間主導による管理運営体制の構築などについて検討を進めます。
- ・通りの通称やロゴの公募、恒例イベントの実施など、街並みのブランド化に向けた取組みの検討を進めます。

(3) 実現に向け解決すべき課題

検討を行う中で、下記のような課題について解決を図ります。

①道路空間の整備に関する課題

- ・道路空間の整備にあたっては、子ども、高齢者、障害のある方等、誰もが安全安心に回遊できるよう、様々なご意見を伺いながら、例えば、歩行者、自転車、自動車等の安全な動線分離やユニバーサルデザインなどの検討が必要です。
- ・また、歩道拡幅のための車線減少や道路・歩道空間の活用においては、沿道の地権者や住民等の理解を得ることはもちろんのこと、交通渋滞の抑制、バス停・タクシー乗降所や運送車両荷捌きスペースの確保、緊急車両の円滑な通行、路上駐車車両の抑制、歩道拡幅に伴う既存路上設置物の移設・再整備などの課題があります。

②魅力ある沿道の活用に関する課題

- ・いかに道路空間が整備されても、十分に活用されなければ、日常的な賑わいは生まれません。イベント時のみならず、日頃から歩きたいと思われる通りに変化していく必要があります。
- ・そのためには、沿道の店舗主や事業者等との連携・協力、空き店舗や空地の活用のための仕組みづくり、店舗誘致や新規開業支援等の仕組みづくり、賑わいを演出する活動を行う多様なプレーヤーの参加・連携などの課題があります。

③官民連携による推進体制の確立、民間主導による街並みの維持管理等に関する課題

- ・上記のようなハード・ソフト両面からの街並みづくりを推進するには、官民連携のもとで協議を進める体制が必要です。
- ・また、上記のような魅力的な街並み空間とそこでの活動を維持し育てていくためには、エリアマネジメント等による民間主導の体制の確立が必要になります。また、体制運営費用の確保、協力者（個人、団体、企業等）の輪の拡大などが課題となります。

上記の課題解決にあたっては、道路活用に係る社会実験やその検証を繰り返しながら、沿道の店舗主・地権者・住民、道路管理者、交通管理者、交通事業者等と協議を行い、理解と協力を得られるよう進めていきます。

5. 今後の進め方

(1) 多様な主体の協働による事業の推進

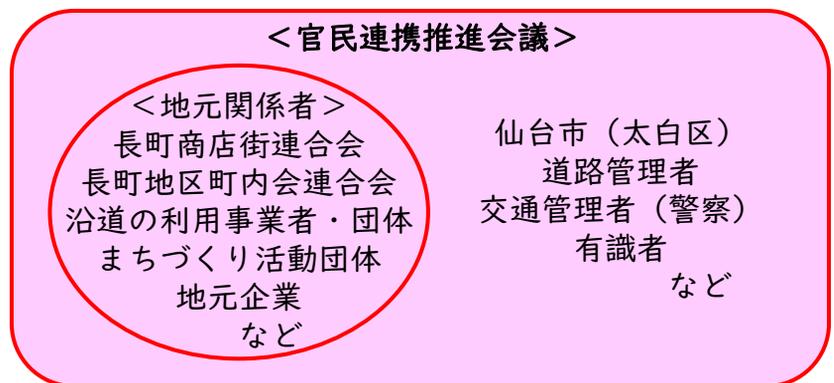
目指すまちの姿、通りの姿の実現のためには、長町の街並みづくりに関わる多様な主体が参画し、本将来像（ビジョン）を共有し、その具体化に向けて協議し検討を重ねながら、協働で取組みを進めていくことが重要です。

今後、次のような取組みを進めていきます。

①官民連携推進会議の設置

- ・目指す街並みの具体化に向け、地元の商店街振興組合や町内会、沿道利用事業者・団体、警察、有識者、庁内関係部署などで構成する検討組織を立ち上げ協議を進めます。

【体制図】



②基本計画の策定

- ・官民連携推進会議での検討、社会実験の実施やシンポジウムの開催などを通じ、多様な市民の意見を幅広く伺い、理解を得ながら、基本計画を策定します。

③社会実験（歩道・車道活用）、店舗実験の実施・検証

- ・基本計画の策定にあたっては、必要な社会実験を繰り返し実施し、並行して店舗実験を行い、課題の把握と検証、課題解決に向けた関係者・関係機関との協議を行います。

④適用可能な国の支援事業・制度などの活用

- ・整備や活用の推進、財源の確保、管理運営団体の支援などのため、適用可能な国の支援事業や制度などの活用を検討します。

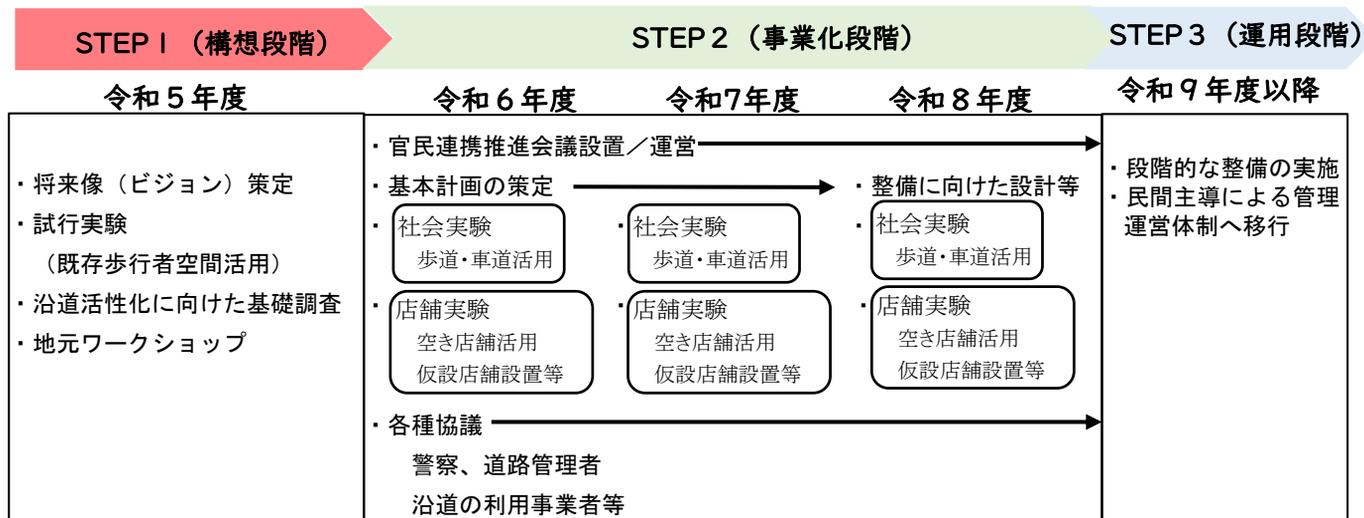
⑤地域主体の街並みづくりの促進

- ・地元の商店街振興組合や町内会等、地域が主体となった、本将来像（ビジョン）の具体化に向けた検討や活動を支援します。

⑥多様な主体との緩やかな連携

- ・本将来像（ビジョン）に賛同する多様な人々が、街並みにおける日常的な賑わいづくりや維持管理に向けて、それぞれのアイデアのもと主体的に活動し、交流し、緩やかにつながることで、本将来像（ビジョン）の具体化を進めていく仕組みづくりを検討します。

(2) ロードマップ



- ・令和6年度からは、事業化段階として、本将来像（ビジョン）の具体化に向け、官民連携推進会議を立ち上げ、社会実験と検証を繰り返しながら、関係者と協議を行い、検討を進めます。
- ・道路空間整備等のハード面については、3年間の前半で、ゾーンごとの整備イメージを基本計画にまとめ、後半で整備に向けた設計等を行います。
- ・店舗等による沿道の活性化については、空き店舗活用や仮設店舗設置などの店舗実験を行いながら、店舗の新規開業につながる仕組みづくりを検討します。
- ・多様な主体の参画と連携を進めながら、民間主導による日常的に賑わいを生み出す仕組みや街並みの維持管理の仕組みについて検討します。
- ・令和9年度以降は、ハード面について段階的に整備を進めるほか、店舗の新規開業促進及び民間主導による街並みの管理運営体制への移行に向けて取組みを進めます。

(3) 本将来像（ビジョン）の具体化に向けて

本将来像（ビジョン）は、歩いて楽しい歩行者空間や街並みの形成の実現に向けての指針となるものであることから、道路空間の整備はもとより、沿道の賑わいを創出する様々な主体の活動を生み出す仕組みづくり、街並みの持続的な管理運営体制の構築などについて、行政のみならず、市民、事業者、関係機関、有識者など、長町の街並みづくりに関わる多様な主体の参画のもと、本将来像（ビジョン）を共有し、その具体化に向けて協議し検討を重ねながら、協働で取組みを進めていくことが重要です。

また、街並みづくりにおいては、長期的、段階的な取組みを要し、課題の解決に向けて、実験・検証を繰り返し、幅広い市民の意見を伺い、関係者と協議を進める中で、実行可能なものから取り組んでいくとともに、街並みを巡る状況の変化等に応じて柔軟に対応していく必要があります。

その点から、本将来像（ビジョン）の検討項目については、現段階で固定化や実施の決定をするものではなく、今後も協議や取組みの進捗状況、街並みを巡る状況の変化等により、必要に応じて適宜改善や修正を加えながら具体化し、基本計画へと反映させていきます。

資料編

長町・歩いて楽しい街並みの将来像（ビジョン）別冊

1. 地域関係者等とのディスカッション
2. 地域関係者への意識調査
3. 現況調査
4. 賑わいや回遊性創出に向けた取組み
5. 広報（ながまちタイムス）

1. 地域関係者等とのディスカッション

(1) 「長町トークセッション～歩いて楽しい街並みづくり～」の開催

日時：令和5年3月18日（土）14：00～16：00

会場：k h b ぐりりホール 参加者数：104名

旧国道4号沿道を中心とした商店街エリアにおいて、より魅力的な街並みを目指し、「歩いて楽しい街並みづくり」を地域の方々とともに始めるにあたり、キックオフイベントとして開催した。

地域の方々に街並みづくりにおける区への考えをお示ししたほか、識者等によるトークセッションや参加者との意見交換を通して街並みづくりの理解を深めるとともに、令和5年度内の本将来像（ビジョン）作成に向けて、機運を高める機会とした。

①開催趣旨・今後の方針等の説明 太白区長 檜森亮

②トークセッション

長町商店街連合会 会長 大友克人氏

国土交通省東北地方整備局建設部都市・住宅整備課 課長 高濱康巨氏

特定非営利活動法人スロコミ 代表理事 林久美氏

仙台市都市整備局計画部都市計画課 課長 井藤由親

仙台市太白区まちづくり推進部地域力推進担当 課長 伊勢貴

司会：特定非営利活動法人都市デザインワークス 代表理事 榊原進氏



トークセッション



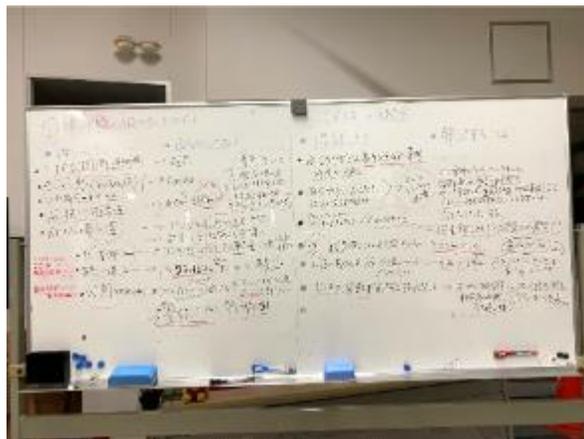
チラシ（表面）

(2) ワークショップの実施

街並みの将来ビジョンの核となる、街のあるべき姿、今後の方向性、取り組むべき項目などについて検討するため、長町の商店街や旧国道4号沿道の町内会の方々を中心に参加いただき、全8回のワークショップを開催した。



グループワークによる検討



発言を集約しながらキーワードを分析



エリアの魅力や改善アイデアの数々



専門家による話題提供



エリア内店舗でのワークショップも実施



グループの検討結果の発表

(ワークショップ開催実績)

第1回 令和5年9月19日(火) 19:00~21:00 長町駅前プラザ

「未来の長町」をより良くするためのアイデア、現在の魅力・課題などを明確化。

第2回 令和5年10月3日(火) 19:00~21:00 長町駅前プラザ

「回遊性」と「道路・公共空間活用」を切り口に他地域事例を共有。「誰のために・なぜ」、道路・公共空間を活用し、回遊性を高めるのか意見交換。

第3回 令和5年10月17日(火) 19:00~21:00 長町駅前プラザ

歩いて楽しい街並み形成にあたり、向上させたい魅力と解決したい課題について検討。

第4回 令和5年11月21日(火) 18:30~20:30 会場:長町駅前プラザ

歩道・車道、店舗等の軒先、長町駅西口広場・長町駅前プラザについて、これまでの意見を踏まえたイメージ図などを見ながら、将来像の共有を図るとともに「あるべき姿」を検討。

第5回 令和5年12月5日(火) 18:30~20:30 長町駅前プラザ

街の魅力やまちづくりのアイデアを概ね5つ(あんしん/やすらぎ/みんなで/にぎわい/らしさ)にグルーピングし、それぞれのグループについて「あるべき姿」の方向性を検討。

第6回 令和5年12月19日(火) 18:30~20:30 PUBLIC COFFEE

これまでの意見を踏まえまとめた、エリアの<目指す姿><今後の方向性><考えられる取組み例>について、さらに長町の旧国道4号沿道にふさわしい、長町ならではの表現について検討。

第7回 令和6年1月16日(火) 18:30~20:30 長町駅前プラザ

精査した<目指すまちの姿><目指す通りの姿>、今後の方向性として考えられる5つの要素<①安心して歩きやすい街並み/②心地良い時を過ごせる街並み/③賑わいがあり心躍る街並み/④個性的な触れ合いのある街並み/⑤皆で一緒に魅力を育てる街並み>について意見交換。

第8回 令和6年2月20日(火) 18:30~19:50 長町駅前プラザ

これまでのワークショップで検討してきた内容をもとに「長町の街並みの将来イメージ」(案)を作成。また、将来イメージをよりわかりやすく具体的に共有するため、方向性ごとにまとめたイラストを用いて意見交換。

(3) 「長町・歩いて楽しい街並みづくりシンポジウム」の開催

日時：令和6年3月9日（土）13：00～15：30

会場：太白区文化センター 展示ホール 参加者数：98名

計8回のワークショップを経て作成した「長町の街並みの将来イメージ」および、この将来イメージを受け仙台市がまとめた「長町・歩いて楽しい街並みの将来像（ビジョン）」（案）について紹介し、地域の方々や関係者とともに長町の街並みについて考えるためのシンポジウムを開催した。

今後、取組みを具体化するにあたっての方向性を共有する機会となった。

- ①事業趣旨説明 太白区長 檜森亮
- ②「長町・歩いて楽しい街並みの将来像（ビジョン）」（案）の共有
 仙台市太白区まちづくり推進部地域力推進担当課長 伊勢貴
 サンカトゥール商店街振興組合 阿部正人氏
 たいはっくる自治会 菊地芳子氏
 長町駅前商店街振興組合 阿部勝己氏
 長町一丁目商店街振興組合 遠藤恭郎氏
 一社団法人ながまちマチキチ 加藤隆氏
- ③トークセッション「長町の街並みの未来」
 長町商店街連合会 会長 堀内祥弘氏
 長町地区町内会連合会 会長 佐藤博氏
 特定非営利活動法人スロコミ 代表理事 林久美氏
 有限会社とびばいさ甘座 工場長
 （定禅寺リビングストリートプロジェクトリーダー） 渡邊靖水氏
 一般社団法人せんだいリノベーションまちづくり実行委員会
 代表理事 小島博仁氏
 仙台市太白区まちづくり推進部地域力推進担当 課長 伊勢貴
 進行：株式会社都市設計 代表取締役社長 氏家滉一氏



トークセッション

長町・歩いて楽しい 街並みづくりシンポジウム

このまちの街並みの未来は？
イメージの共有から始める
みんなの街並みづくり

日時
令和6年
3/9土
13:00~15:00

会場
太白区文化センター
地下1階 展示ホール
仙台市太白区長町5-3-2
地下鉄長町駅前1出口東詰
またはJR長町駅より徒歩3分
※当日は入場無料です。

定員100名
(先着・無料)

長町にお住まいの方、
長町の街並みづくりに
関心のある方など、
どなたでも参加できます。
※事前申し込み不要(定員を超えてお断りします。)

**長町・旧国道4号沿道の
将来像について**

◆事業趣旨説明
「長町・歩いて楽しい街並みの将来像（ビジョン）」（案）の共有

**トークセッション
「長町の街並みの未来」**

◆事業趣旨説明
長町商店街連合会 会長 堀内 祥弘氏
長町地区町内会連合会 会長 佐藤 博氏
NPO法人スロコミ 代表理事 林 久美氏
有限会社とびばいさ甘座 工場長 渡邊 靖水氏
特定非営利活動法人リノベーションまちづくり実行委員会 代表理事 小島 博仁氏
一社団法人ながまちマチキチ 代表理事 伊勢 貴氏
仙台市太白区まちづくり推進部地域力推進担当課長 伊勢 貴氏
進行 株式会社都市設計 代表取締役社長 氏家 滉一氏

【主催】仙台市太白区 【ご協力・お問い合わせ先】太白区まちづくり推進部地域力推進課 02-26100209city.sandai.jp 02-261-1111(代表)

チラシ

「長町の街並みの将来イメージ」（検討会案）

目指すまちの姿

新しくて懐かしい 賑

目指す通りの姿

歩いて楽しい、賑わい

歴史ある「商（あきな）い」のまち・長町
まちの個性と新しい魅力や活動が、歩きやすく快適な人
訪れる人にも住んでいる人にも魅力的な賑わいと交流の

■ 今後の方向性(将来の街並みのイメージ)

安心で歩きやすい街並み

大人にも子どもにも、昼夜を問わず安全安心な通り。
思わず歩き出したくなる、人中心の誰にでも優しく快適な空間をつくります。

【考えられる取組み例】

- ・車線減少による歩道の拡幅
- ・自転車専用レーンの設置
- ・子ども、親子連れや高齢者等に優しいユニバーサルデザイン
- ・スクランブル交差点
- ・滑りにくい舗装

心地良い時間(とき)を過ごせる街並み

気軽にゆったりとくつろぎ、休んだり会話を楽しんだり思い思いに過ごせる通り。
ゆっくり滞在したくなる、居心地の良い憩いの空間をつくります。

【考えられる取組みの例】

- ・ベンチやテラスの設置等、憩いの空間を生み出す仕組みづくり
- ・低木による木陰、花壇の設置
- ・長町駅西口広場等におけるくつろぎの空間設置

賑わいがあり心躍る街並み

一人でも楽しい、誰かと一緒ならもっと楽しい、いつも魅力と発見がある通り。
いつ訪れてもワクワクしながら街歩きが楽しめる、活気のある空間をつくります。

【考えられる取組みの例】

- ・イベント時の歩行者天国化と道路空間活用
- ・長町駅西口広場等既存施設のイベント活用
- ・空き店舗、空き地の利活用
- ・街歩きに魅力的な仮設店舗、キッチンカーの設置
- ・街歩きを楽しめる案内サイン・マップ
- ・アート、音楽等の活用

個性的な触れ合いのある街並み

古くからの歴史と新しい文化・人が融和する、長町らしさを感じられる通り。
様々な人の関わり合いを通して、親しみと情緒を感じられる交流の空間をつくります。

【考えられる取組みの例】

- ・街の人と触れ合うことが出来る案内所兼カフェ
- ・歩きながら地域資源に触れられる仕掛け
- ・新しい長町らしさの発掘、創造
- ・顔が見える、会話を楽しめるお店の仕掛け
- ・屋台や夜市等と横丁が連携したナイトツーリズム
- ・長町商店街まちづくり憲章に沿った商店街振興

わいと交流のまち ナガマチ

と交流が生まれる人中心の街並み

中心の通りでつながり、
「あきない」まちへと、皆のチカラで進化します。

対象地域：旧国道4号沿道(商店街エリア)※長町駅～長町一丁目

皆で一緒に魅力を育てる街並み

住んでよし訪れてよし、魅力的なメインストリートとして皆でつくる通り。
いつまでも愛され受け継がれる、様々な人が関わり魅力を高める協働の空間をつくります。

【考えられる取組みの例】

- ・多様なプレーヤーの協働を生み出す「たまり場」の設置、活用
- ・民間主導による街路や広場の維持管理、活用
- ・出展料や広告料等によるマネジメント資金の確保
- ・街並みのブランディング戦略
- ・ファンを増やすまちゼミ等の取組み
- ・大学、学校へのフィールド提供

■実現に向け解決すべき課題及び今後の進め方

下記の課題について、実験・検証を繰り返しながら、沿線の店舗主・地権者・住民、道路管理者、交通管理者、交通事業者等と協議を行い、理解と協力を得られるよう進めていきます。

①道路空間再構築

- ・交通渋滞の懸念
- ・バス停・タクシー乗降所、運送車両荷捌きスペースとの関係
- ・歩行者、自転車、自動車の安全な通行分離
- ・歩道拡幅に伴う既存路上設置物の移設・再整備

②魅力ある沿道の活用

- ・沿道店舗、事業者等の連携・協力
- ・空き店舗・空地活用のための仕組みづくり
- ・店舗誘致や新規参入支援等の仕組みづくり
- ・賑わいを演出する活動を行う多様なプレーヤーの参加・連携

③公民連携による推進体制の確立・民間主導による街並みの維持管理

- ・エリアマネジメント推進体制、維持管理体制の確立
- ・協力者(個人、団体、企業等)の輪の拡大

2. 地域関係者への意識調査

(1) 沿道事業者アンケート調査

「長町における賑わいと交流の街並み形成に向けたアンケート調査」

実施日：令和5年11月16日～27日

調査対象：長町の旧国道4号沿道の273事業者（回答61事業者、回答率22.3%）

調査方法：アンケート用紙回収／郵送またはWEB回答

長町駅前から広瀬川までの旧国道4号沿道の事業者を対象に、長町の旧国道4号沿道およびその界隈の魅力、課題、軒先や沿道環境を活用して取り組みたいことなどについてアンケート調査を実施した。

◆問：事業を今の場所で行うに至った理由やきっかけを教えてください。

主な回答

- ◆ 地下鉄、東北本線の沿線にあり、便利なため
 - ◆ 公共施設（楽楽ホール、市民図書館、市民センター）が同敷地内にあり、長町駅前の好立地
 - ◆ JRと地下鉄が交差していて駅から最寄り、駐車場もある
 - ◆ 創業103年になり、私は2代目です
 - ◆ 父の事業を継承して
 - ◆ 2011年震災で移転してきた
 - ◆ 長町のまちおこし、活性化の役に立てばという思い
 - ◆ いろいろな施設があり賑わっている活気のある町だから
 - ◆ 長町の将来性、創業時の縁
 - ◆ 人口が増えそうな街だから、「鶴の湯」（銭湯）があったから
 - ◆ 店舗の空きを紹介してもらった
 - ◆ 生まれも育ちも長町のため
- など

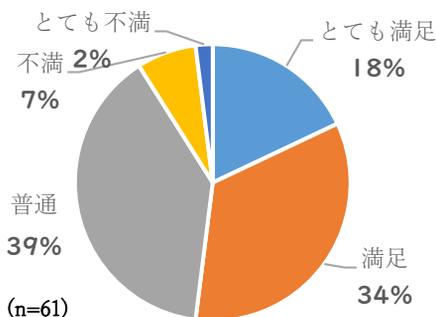
回答をカテゴライズして集計

集計（項目別）



・長町で事業を行うに至った理由やきっかけは、JRや地下鉄の沿線であることから、立地条件や交通利便性の良さが最も多い。

◆問：事業（活動）する場所としての、長町の旧国道4号沿道の環境について



◆問：旧国道4号沿道の魅力・課題について

「とても満足」「満足」と回答した方にとって旧国道4号沿道で魅力的だと感じること

(主な回答)

- ◆ 交通の便がよく人が集まりやすい場所である
- ◆ 新旧様々な店舗があり、楽で楽しい
- ◆ チェーン店が少なくて良い
- ◆ 飲食店が多くあるところ
- ◆ 昔ながらの店や新しくできた店が混在しているところ
- ◆ 新店舗がどんどん増えている、イベントがたくさんある、徒歩圏内で生活の用が足せる
- ◆ 今はまだ昔の街並みが残っている
- ◆ 長町駅西口広場が活用できるところ
- ◆ 自然、歴史、文化があった、人情、連帯がある
- ◆ 中心部や郊外と比較して、その中間の長町は両方の良さを持ち、老若男女が混在してゆったり過ごせる雰囲気がある、街と人の距離感が近いと感じる

など

「不満」「とても不満」と回答した方にとって旧国道4号沿道で問題・課題と感じること

(主な回答)

- ◆ 店舗・シャッターが閉まっている所が多くなり、人が歩いていない、さびれた町になった
- ◆ 駐車がやたらと増えた
- ◆ 人通りが少ない、空き店舗の問題
- ◆ 旧4号沿いの空き店舗、コインパーキングの多さ、歩いて見ても見るような店がない、昼間営業の飲食店が少ない
- ◆ 歩道の幅がもう少し広いと良いと時々感じる
- ◆ あすと長町に（人が）流れている
- ◆ 商業施設の老朽化と道路、看板の老朽化とPR不足につき、若者をはじめ新規住民の流入が不足し経済が停滞低下している

など

- ・ 事業（活動）を行う場所としての旧国道4号沿道の満足度は、「とても満足」「満足」が過半数を占める。「とても満足」「満足」回答者が魅力的だと感じることで、交通利便性のほか、新旧の魅力的な店舗・街並みや、人情、人間味やイベント等が挙げられた。
- ・ 「不満」「とても不満」回答者が問題・課題と感じることとして、空き店舗・駐車場の多さや、商店街の魅力の低下、歩道が狭い等の歩き難さが挙げられた。

(2) 地域団体ヒアリング

長町地区の住民や地域で活動する団体に、旧国道4号沿道の魅力や課題、意見等について対面による聞き取り調査を実施。

ヒアリング調査①

日時：令和6年1月15日（月）、16日（火）

対象：ママンココン運営委員会、育児サークル「ピンクとブルー」
（ママンココン運営委員会副代表、長町在住の子育て中女性）

主な意見：

- （魅力）面白い店・魅力的な店がある。／飲食店、習い事の教室、かかりつけ医が通り沿いにあり、頻繁に行く。／広瀬川がある。
- （課題）歩道が狭く、自転車が通るたびに怖い思いをしている。／押しボタン式の歩行者用信号の待機時間が長く、車道横断を断念することがある。／長町一丁目まで距離が長く、歩くには遠い。／商店街の店や情報を知らない。
- （意見等）自転車専用レーンがあると良い。／途中にベンチなどがほしい。／イベント等に利用できるスペースが商店街通りの途中にほしい。

ヒアリング調査②

日時：令和6年1月15日（月）

対象：長町地区町内会連合会
（長町地区内の町内会長）

主な意見：

- （魅力）ゼビオアリーナ仙台のアイスリンク整備といった、明るい情報がある。
- （課題）歩道が狭く、自転車が怖い。／旧国道4号に長時間路上駐車している車が多い。
- （意見等）片側1車線にして歩道を広く整備し、イベントや活動の場として使用。／若い世代との連携が必要。

ヒアリング調査③

日時：令和6年1月18日（木）

対象：長町中学校おやじネットワーク
（長町中学校生徒の保護者）

- （魅力）住民の活気や地元愛がある。／精力的に活動するまちづくり団体がある。
- （課題）車視点でも歩行者視点でも道路が危ない。／ゆずりあい精神の欠如。
- （意見等）交差点を歩車分離にする必要がある。／小中学生の居場所として活用できるスペースがほしい。／若者や子どもの意見を反映させること、まちづくりを自分事にさせることが必要。

- ・各団体に共通して、歩道の狭さに対する懸念や自転車専用レーンの必要性についての意見があった。そのほか、ベンチ等の設置や、イベント・活動に活用できるスペースを求める意見、若者や子どもの意見の反映を求める声等があった。

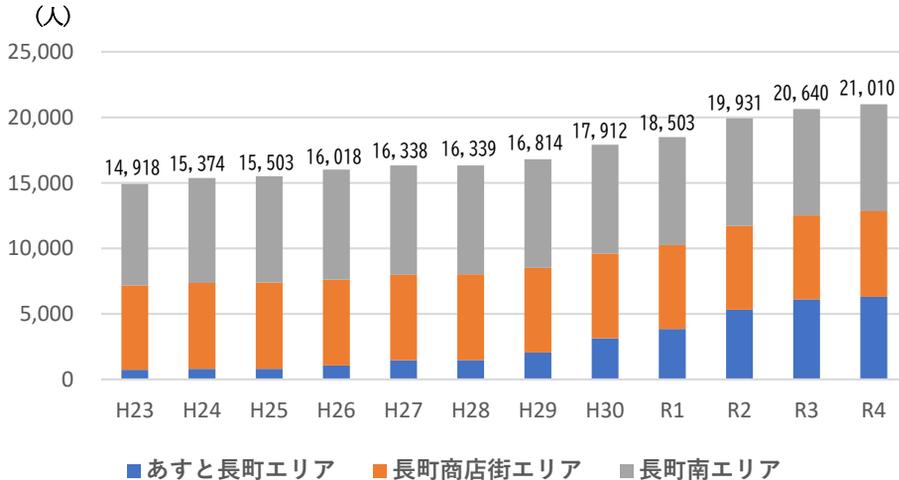
3. 現況調査

(1) 統計調査

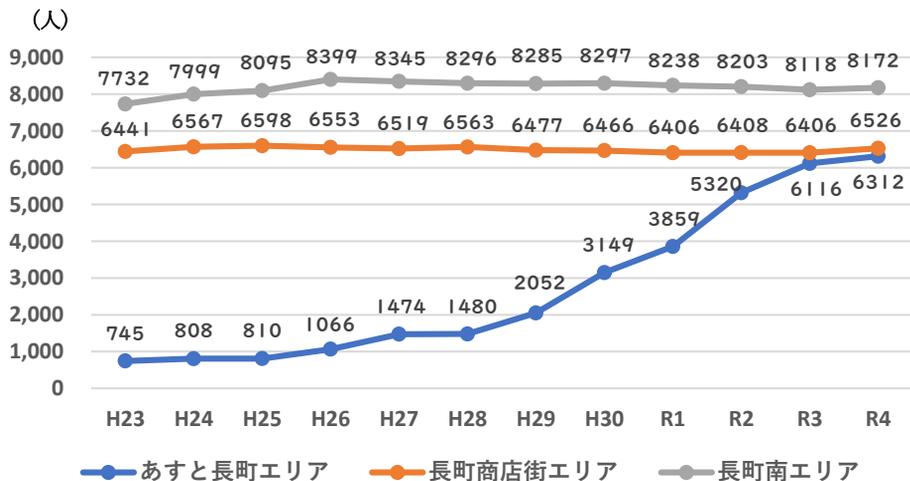
既存の統計や資料等を利用して、人口、事業所数、従業員数、交通に係る現状分析を実施。

◆長町地区の人口推移

長町地区（長町商店街エリア+あすと長町エリア+長町南エリア）の人口推移



各エリアの人口推移

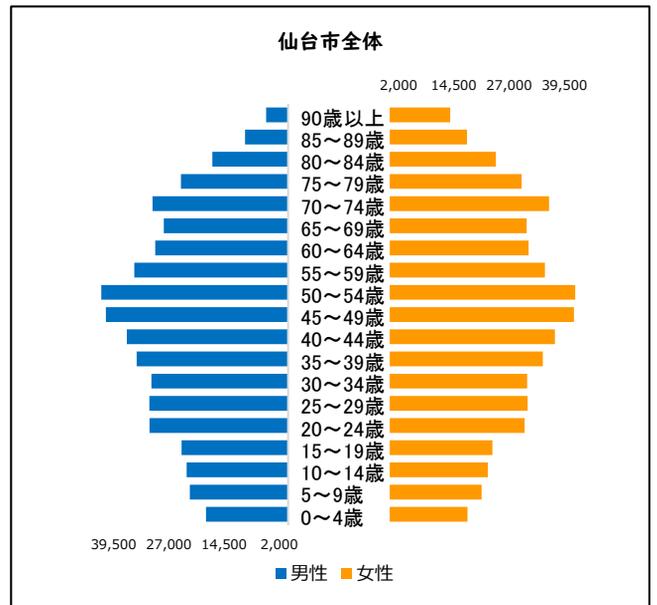
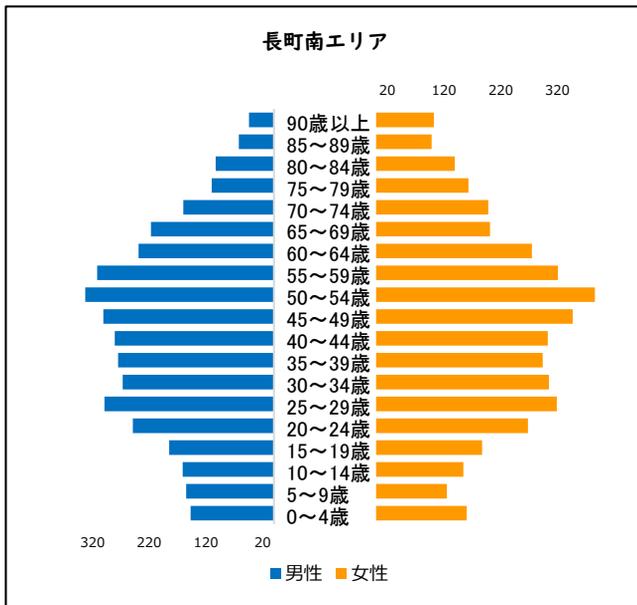
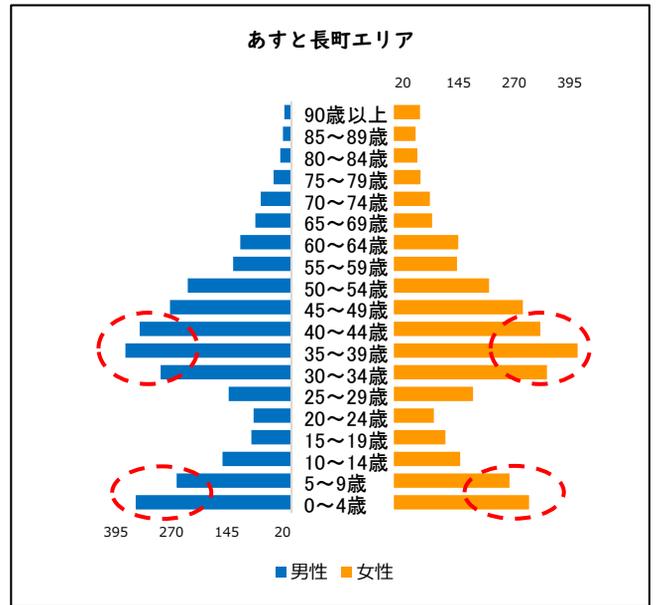
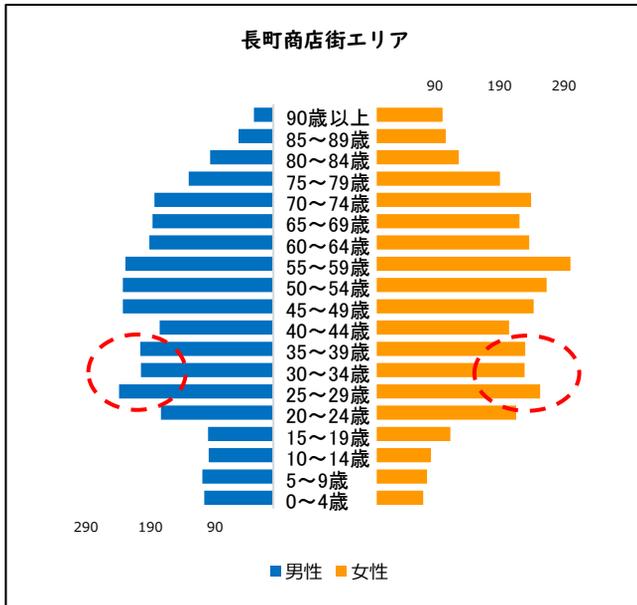


出典：仙台市「町名別年齢（各歳）別住民基本台帳人口」

(注) 長町エリアの範囲は、あすと長町エリアがあすと長町一丁目～四丁目、長町商店街エリアが長町一丁目、三丁目、五丁目、長町南エリアが長町七丁目、長町南一丁目、三丁目、四丁目としている。

- あすと長町エリアの人口が開発が進む中で平成28年以降急増しているのに対し、長町商店街エリアと長町南エリアは概ね横ばいで推移している。

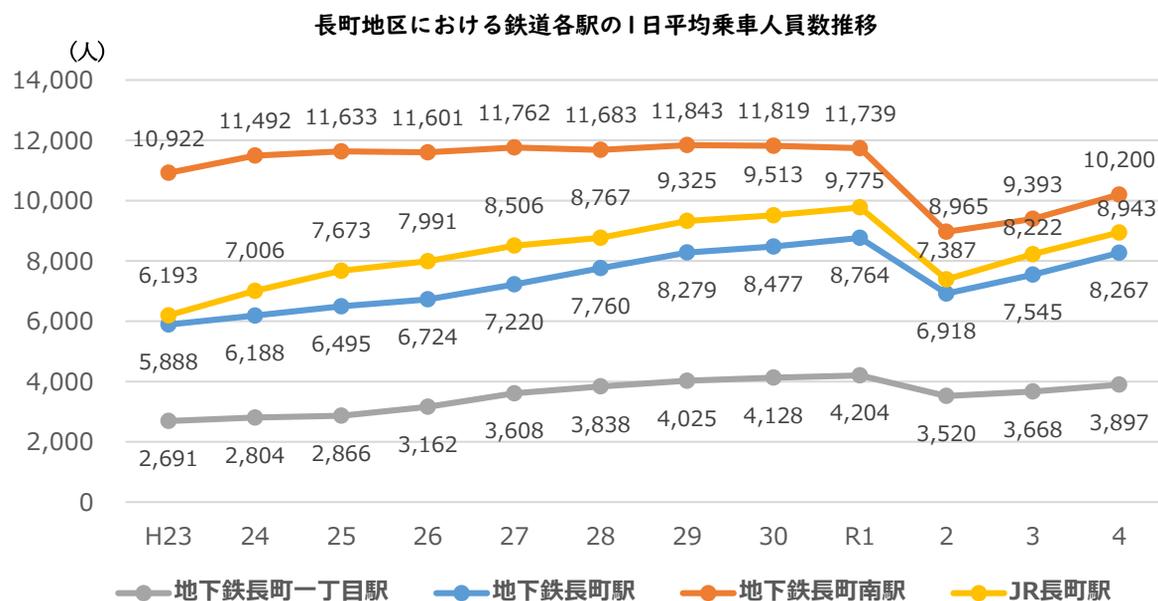
◆長町地区の人口ピラミッド



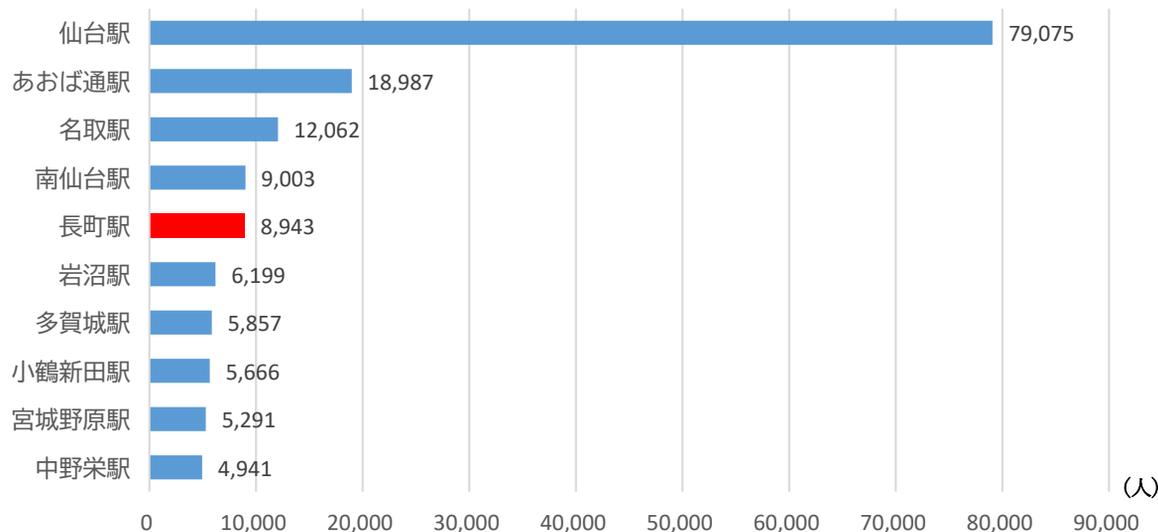
出典：仙台市「町名別年齢（各歳）別住民基本台帳人口」（令和6年1月1日現在）
 （注）各エリアの範囲は、あすと長町エリアがあすと長町一丁目～四丁目、長町商店街エリアが長町一丁目、三丁目、五丁目、長町南エリアが長町七丁目、長町南一丁目、三丁目、四丁目としている。

- ・ あすと長町エリアは10代以下の若年層と30代～40代のいわゆる子育て世代層の比率が突出している一方、長町商店街エリアでもそこまで極端ではないものの、仙台市全体と比べて、30代前後の比率が高い。

◆長町地区の鉄道駅乗車人員数



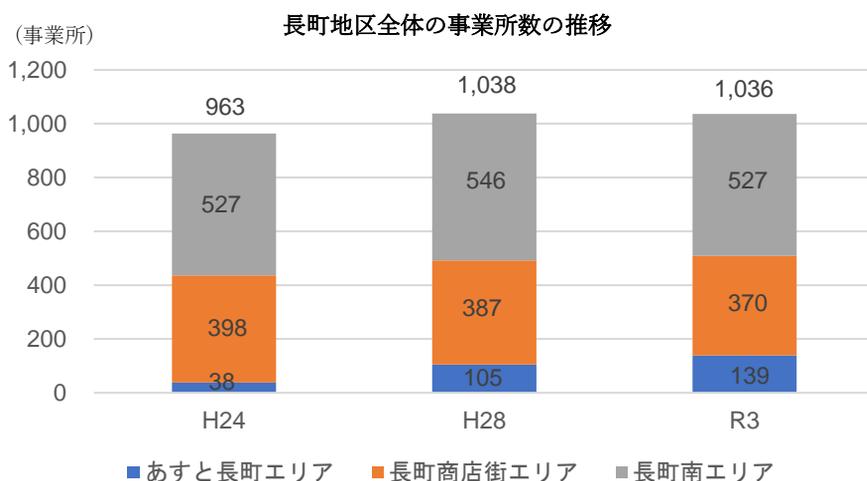
宮城県内JR駅の1日平均乗車人員数上位10駅（令和4年）



出典：仙台市交通局「仙台市地下鉄駅別乗車人員の推移」、東日本旅客鉄道（株）「各駅の乗車人員」

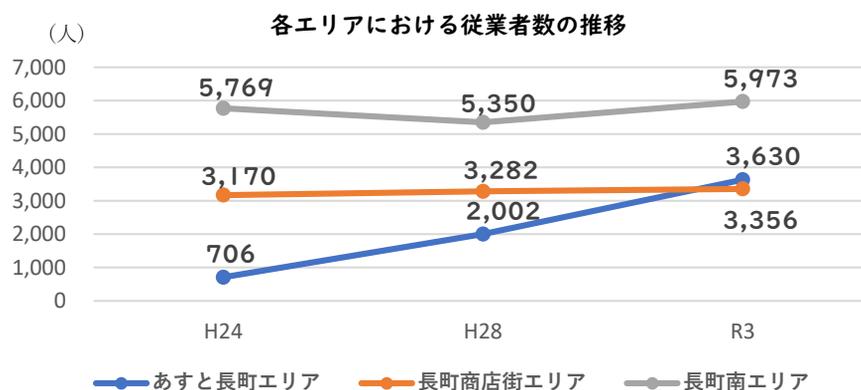
- ・長町地区の鉄道駅乗車人員数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年に落ち込んだものの、その後回復が進んでいる。
- ・JR長町駅、地下鉄長町駅、地下鉄長町一丁目駅の合計乗車人員は21,107人となり、エリアとしては仙台駅周辺に次いで宮城県内で2番目に多い。

◆長町地区の事業所数・従業者数



長町商店街エリアの業種別事業所数推移

業種	H24	H28	R3	(R3-H24)
宿泊業、飲食サービス業	104	104	74	-30
卸売業、小売業	86	86	83	-3
不動産業、物品賃貸業	53	44	51	-2
医療、福祉	42	44	43	1
生活関連サービス業、娯楽業	37	33	34	-3
学術研究、専門・技術サービス業	19	21	25	6
教育、学習支援業	13	15	16	3
金融業、保険業	12	10	10	-2
サービス業（他に分類されないもの）	12	10	9	-3
建設業	11	12	11	0
その他	9	8	14	5
合計	398	387	370	-28



出典：H24、H28、R3経済センサス活動調査

(注) 長町エリアの範囲は、あすと長町エリアがあすと長町一丁目～四丁目、長町商店街エリアが長町一丁目、三丁目、五丁目、長町南エリアが長町七丁目、長町南一丁目、三丁目、四丁目としている。

- ・長町商店街エリアの事業所数は、平成24年と令和3年を比較すると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり飲食サービス業において減少が見られるものの、その他の業種についてはコロナ禍前と同水準を維持している。

(2) 現地調査

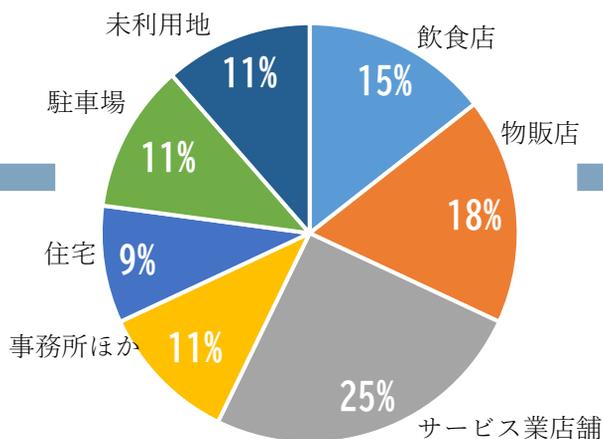
日時：令和5年9月21日（木）

場所：旧国道4号沿道（広瀬橋交差点から長町駅前交差点まで）

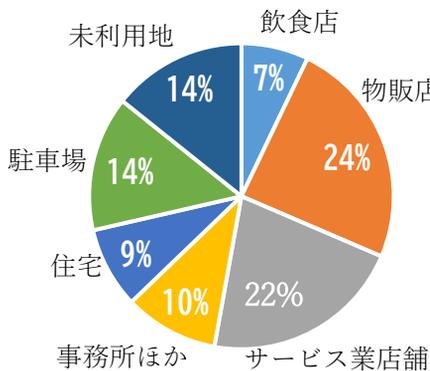
沿道の利活用状況（建物については1階部分の利活用状況）、沿道建物1階部分の透過性などを目視により確認。

◆沿道の利活用状況構成比（建物については1階部分の利活用状況）

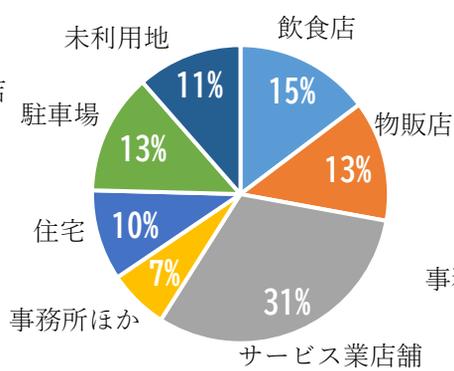
長町商店街エリア全体



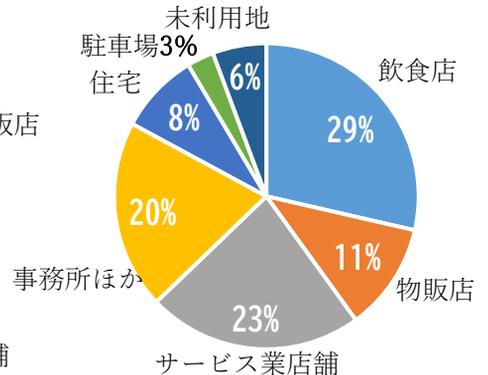
長町一丁目商店街



サンカトゥール商店街



長町駅前商店街

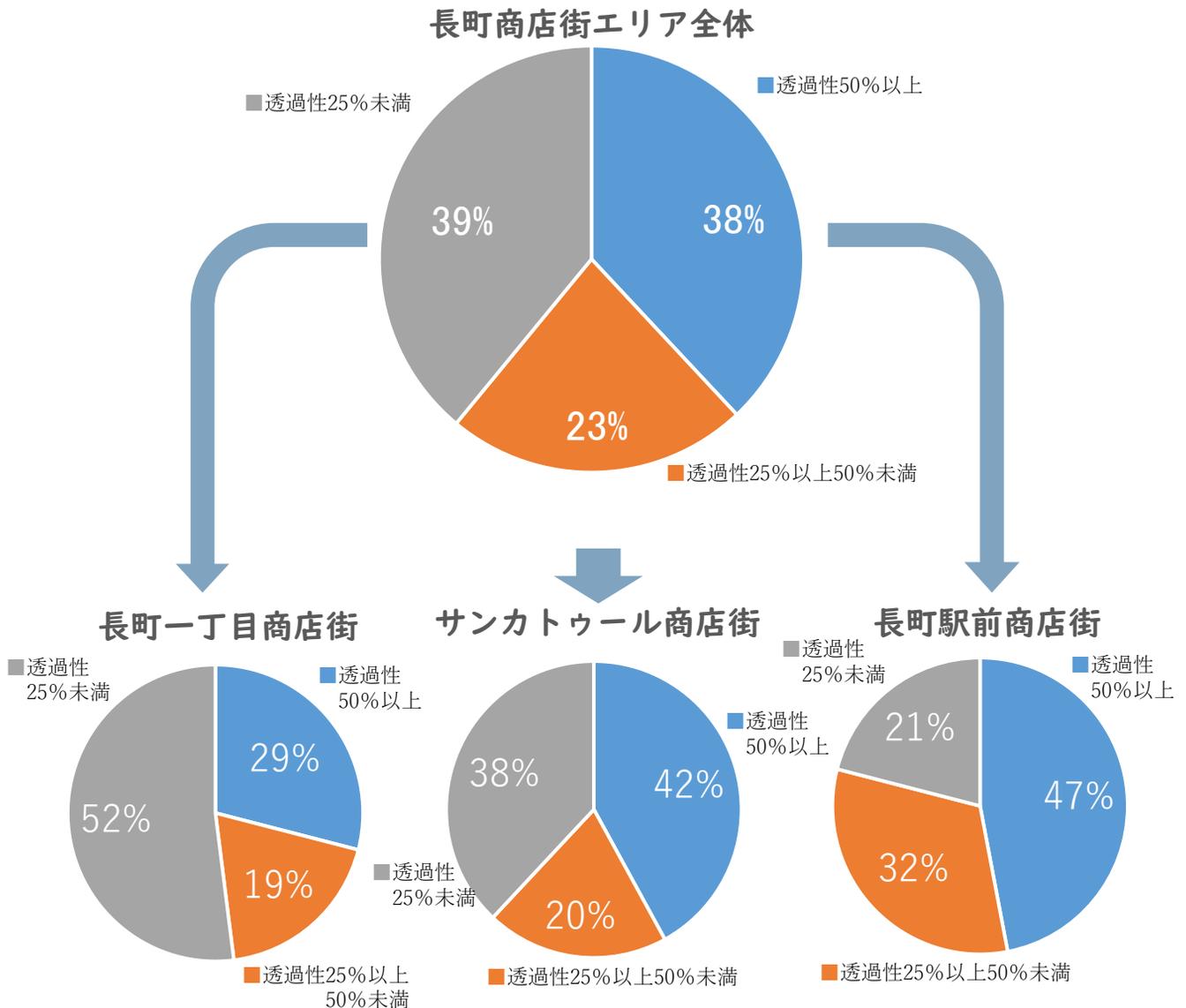


- ・長町商店街エリア全体では、駐車場および未利用地が約2割、住宅用地が約1割、残りの約7割が事業用地となっている。
- ・商店街別にみると、長町駅前から北側に行くほど駐車場および未利用地の割合が高くなる。
- ・事業用地の内訳では、長町一丁目商店街では物販店の割合が高く、長町駅前商店街では飲食店の割合が高いという特徴が見られる。

◆沿道店舗の透過性の状況

・旧国道4号沿道店舗の1階部分がどの程度ガラス張りで中が見えるかを「透過性」とし、ガラス等の部分が1階の何割程度を占めるかを、目視により判断・分類した。

※国土交通省は「居心地が良く歩きたくなるグランドレベルデザイン」において、居心地がよく歩きたくなるまちなかの特徴の1つとして、「歩行者目線の1階部分等に店舗やラボがあり、ガラス張りで中が見えると、人は歩いて楽しくなる」ことを挙げている。



- ・長町商店街エリア全体では、透過性25%未満が4割弱を占めている。
- ・商店街別にみると、長町一丁目から南側に行くほど、透過性が高くなる傾向が見られる。

(3) 歩行者量調査

長町商店街エリアにおける歩行者量の現状把握ならびに今後の取組みの効果検証に活用するため、長町一丁目商店街、サンカトゥール商店街、長町駅前商店街の各商店街の東西2地点ずつにおいて、平日/休日/イベント実施時それぞれの12時間歩行者量調査を実施。

調査の方法：

調査員の手動カウンターによるカウント調査

調査日時：

令和5年10月11日(水) 7:00~19:00 (平日)

令和5年10月15日(日) 7:00~19:00 (休日)

令和5年11月5日(日) 7:00~19:00 (休日※)

※太白区民まつり、長町秋のフェスティバル開催時

調査地点：

旧国道4号沿道の6ヶ所 ※右図も参照

	西側	東側
長町一丁目商店街	①小泉薬局前	②渡源前
サンカトゥール商店街	③七十七銀行長町支店前	④ジーバーFOOD前
長町駅前商店街	⑤たいはっくる前	⑥長町駅前プラザ



調査日の気象状況：

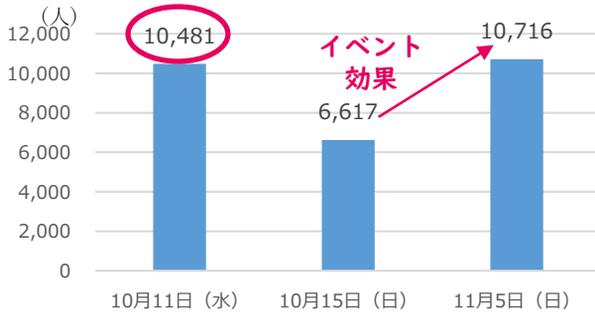
	10月11日(水)	10月15日(日)	11月5日(日)
平均気温	17.3℃	14.0℃	15.3℃
天気	晴	雨後一時曇	曇後一時雨

調査項目：

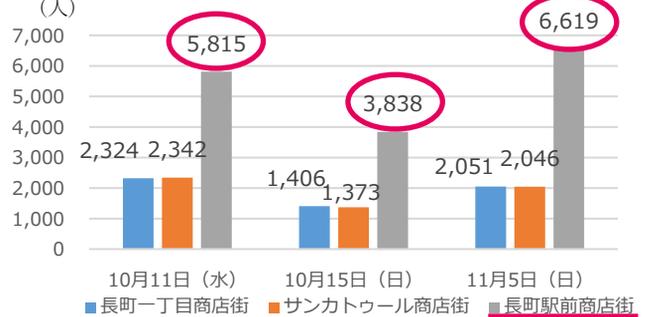
- ・歩行者に限定し、自転車等の利用者は除外
- ・性別(男性・女性)、世代別(高校生以下・一般・65歳以上の高齢者)、時間帯別(午前・午後)に集計

◆集計結果

歩行者量の推移



商店街別歩行者量の推移



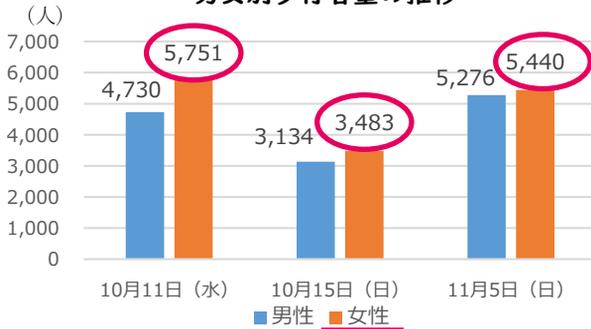
①総数

- ・平日は1万人超の歩行者量がある。
- ・休日はいずれも雨に見舞われたことから歩行者量が少なく、平日を下回るか同程度。
- ・11月5日は「太白区民まつり」や「長町秋のフェスティバル」が開催されていたため歩行者量の増加に寄与したと考えられる。

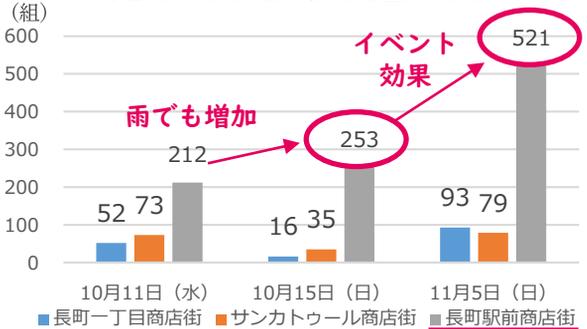
②商店街別歩行者量

- ・長町駅前商店街の歩行者量が突出して多く、他の2商店街の2.5倍～3.2倍程度。
- ・長町一丁目商店街とサンカトール商店街とを比較すると、平日/休日/イベント時のいずれにおいても、同一日内で歩行者量の有意な差は見られなかった。

男女別歩行者量の推移



商店街別家族連れ歩行者量の推移



③男女別歩行者量

- ・女性の歩行者量が多い。特に、平日はその傾向が顕著となる。
- ・平日の日中に買い物などで商店街エリアを訪れる女性が多いためだと考えられる。

④商店街別家族連れ歩行者量

- ・長町駅前商店街の家族連れ歩行者量が最も多い。雨に見舞われた10月15日でも歩行者量は減っておらず、天候に左右されにくい可能性が示唆される。また、11月5日のイベント効果も顕著に出ている。
- ・対して、長町一丁目商店街とサンカトール商店街は雨の影響で10月15日の歩行者量は極端に少なくなっている。

4. 賑わいや回遊性創出に向けた取組み

(1) 試行実験

①長町駅西口“ほっとオアシス”広場

日時：令和5年9月23日（土・祝）10：00～15：00

会場：長町駅西口広場

来場者数：約1,000名

目的：

あすと長町エリアの大型イベントへの来場者を長町商店街エリアに回遊させる手法を検証するため、また長町駅前の公共空間（長町駅西口広場、長町駅前プラザ、長町駅西口広場に面する歩道）の一体的な利活用方法を検討するため、大型イベント「みんなで子育てフェスタ」（会場：あすと長町杜の広場）の開催にあわせ、「長町駅西口“ほっとオアシス”広場」を開催した。

実施内容：

- ・広場へ人工芝、ベンチ、テーブル等を設置
- ・ライブステージ、飲食コーナーを設置
- ・子どもも大人も楽しめる各種コンテンツを実施（ものづくりワークショップ、バスケットボールシュートチャレンジ、ダンボール迷路、ミニSL乗車体験等）

結果：

- ・約1,000名と多くの来場者があり、親子で楽しめる場所・機会へのニーズがあることや、あすと長町での大型イベントと連携することで一定の誘客効果があることが認められた。
- ・一方で、来場者アンケート等の結果から、あすと長町一長町駅西口間の移動経路については、最短距離であるJR長町駅東側を経由する傾向がうかがえた。



普段の長町駅西口広場



長町駅西口広場に滞在空間を創出



長町地区内全戸へと当日会場で周知



広場を飛び出しミニSLが道路を走る
(仮設点字ブロックにより点字ブロック利用者に配慮)

②長町のイベント回遊キャンペーン

日時：令和5年11月5日（日）10：30～15：00

会場：あすと長町杜の広場、長町駅西口広場

キャンペーン参加数：500名

目的：

あすと長町エリアと長町商店街エリア間の回遊の促進と、回遊ルート等の現状を調査するため、「太白区民まつり」（会場：あすと長町杜の広場）および「長町秋のフェスティバル」（会場：長町駅西口広場）の開催にあわせ、両イベント間で相互PRを行う回遊キャンペーンを実施した。

実施内容：

- ・各イベント会場において来場者250名ずつに対し、もう一方の会場に行くとき景品がもらえる「キャンペーン引換券」を配布。
- ・引換券を回収する際に、会場間の移動ルート等をヒアリング実施。

結果：

- ・引換券の回収率が約7割であったことから、小さなきっかけでも多くの来場者のイベント間回遊につながることを示唆された。
- ・キャンペーン参加者の9割以上がJR長町駅東側を經由する最短ルートを選んでおり、長町商店街エリアへの回遊促進というより両会場間の単純な移動にとどまった。
- ・旧国道4号沿道へ誘導するためには、目的地となり得る店や場所、きっかけとなる仕掛けが必要だという課題が見出された。



ヒアリングの様子



太白区民まつり会場で配付した引換券

③イルミネーションと連携した光による回遊性向上実験

日時：令和5年12月23日（土）16：30～20：30

会場：J R長町駅北 高架下歩道

旧国道4号沿道

長町駅西口広場

来場者数：約500名（長町駅西口広場）

目的：

あすと長町エリアと長町商店街エリア間の回遊促進の実験として、長町駅西口広場における長町イルミネーション（主催：長町駅前商店街振興組合）開催期間中に、仙台89ERSの試合開催日において、両会場を結ぶ取組みを実施した。

実施内容：

- ・ J R長町駅北側の高架下歩道に「光の小径」としてLEDキャンドルを設置（目的：あすと長町エリアから長町商店街エリアへの誘導）
- ・ 旧国道4号沿道の4店舗の軒先に設置した「光のツリー」を巡るラリー、及びラリー参加者へのヒアリング（目的：長町商店街エリア内の回遊促進）。
- ・ 長町駅西口広場における冬季屋外での滞在性向上の取組み（内容：ビジョンカー設置による仙台89ERSパブリックビューイング／89ERSチアーズのクリスマスパフォーマンス／光のツリー参加者に対するホットドリンク提供／たき火等）

結果：

- ・ ヒアリングによると、約5割が旧国道4号を経由して来場した（11月5日実施の回遊キャンペーン（前頁参照）では、旧国道4号経由は1割未満）。
- ・ イベント当日および翌日（イベント当日と同じ時間に仙台89ERSの試合開催）の2日間において、歩行者量調査（18～19時、人出観測）を実施し、イベントの開催効果を検証したところ、たいはっくる前交差点から北側に向かう歩行者量が約9割増（442名／時間）と、長町商店街エリア内の回遊促進が認められた。
- ・ メインターゲットを仙台89ERS観戦者とし、開催告知も観戦者向けに限定したものの、各会場では観戦者以外の多くの歩行者等も足を止め、イベントを楽しんでいた。道路空間等を活用したイベントは賑わい向上において効果的であることが示唆された。



高架下に「光の小径」を創出



店舗の軒先に「光のツリー」設置



観戦者へ配布したチラシ

5. 広報 (ながまちタイムス)

取組みの経過などをお知らせするため、広報紙「NAGAMACHI TIMES (ながまちタイムス)」を発行し、地区町内会への回覧や沿道事業者(約270件)へ配布したほか、市ホームページにも掲載した。詳細はホームページで閲覧可。

市ホームページURL⇒
https://www.city.sendai.jp/taihaku-katsudo/nagamachi/nagamachi_times.html



新しい新しい街の顔をお知らせしよう！
NAGAMACHI TIMES
 キーワードは「歩いて楽しい〜地域をつくる 街並みの発展プロジェクト」

新しい新しい街の顔をお知らせしよう！
NAGAMACHI TIMES
 ～歩道の街町のために～
 ワークshopアイデアが湧いてくるワークショップで意見を意見交換！

高層を採んだ旧国道4号側への
 公共空間活用に向け！
 「こぼれオアシス」広場(仮称)へ

新しい新しい街の顔をお知らせしよう！
NAGAMACHI TIMES
 小さなアイデアから街並みの発展に
 ワークshopで湧き出てきた、街並みの発展アイデア

新しい新しい街の顔をお知らせしよう！
NAGAMACHI TIMES
 新築4階建ての
 新ビルに合わせた
 アンダーパス建設準備

新しい新しい街の顔をお知らせしよう！
NAGAMACHI TIMES
 新築の旧国道4号側沿いの
 街並み発展に向け
 ワークshopを開催
 ブランディングを始める

新しい新しい街の顔をお知らせしよう！
NAGAMACHI TIMES
 よる町並み向上と街並み発展
 本町2丁目
 本町3丁目
 本町4丁目
 本町5丁目
 本町6丁目
 本町7丁目
 本町8丁目
 本町9丁目
 本町10丁目
 本町11丁目
 本町12丁目
 本町13丁目
 本町14丁目
 本町15丁目
 本町16丁目
 本町17丁目
 本町18丁目
 本町19丁目
 本町20丁目

仙台市太白区まちづくり推進部長町地域活性化推進室
〒982-8601 仙台市太白区長町南三丁目1-15
電話：022-247-1111（代表）